

科目名	現代文B	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志	コース キャリア・公務員
目標	文学作品を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解により、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。また、現代社会で求められる言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価 基準	S 使える	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけて活用することができる。	相手や場に応じて効果的に話し的確に聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを発展させている。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる。客観的に主体的に思考、判断することができる。	
	A わかる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	相手や場に応じて話し聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章が書ける。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる力を磨く。客観的に主体的に思考、判断する力を磨く。	
	B できる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけようと努力する。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解することができる。自分の考えを文章にまとめられる。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現しようと努力する。客観的に主体的に思考、判断できる力をつけようと努力する。	
	C する	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて学習意欲を持つ。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解しようとする姿勢を持つ。自分での考えを深めようとする学習意欲を持つ。	主体的に学習活動に参加し、学習意欲を持つ。	
評価方法	授業態度の観察 定期考査 提出 スト	定期課題 漢字テ	授業態度の観察 定期考査 提出	定期課題 作文	授業態度・姿勢・準備 グループ活動への取組

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	『はじめての失敗』(随想) 『言葉を理解する』(評論) 『マスク』(小説) 小テスト、作文コンクール、漢字テスト
2 学期	『博士の愛した数式』(小説) 『おまえはどこに立っている』(随想) 『小説とは何か』(評論) 小テスト、作文、漢字テスト
3 学期	

何で学ぶか(教材)

教科書「新高等学校現代文B」明治書院 教科書「新高等学校現代文B学習課題ノート」明治書院 「常用国語便覧」浜島書店 「新版高校漢字必携」第一学習社編集部 各種プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習(発表) グループ学習(発表)
------------------------------

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志	コース <small>キャリア・公務員</small>
目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評	<b>S</b> 使える 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすることができる。	まとまりのある文章を思考・表現することができる。	多様な場面における言語活動に取り組むことができる。
価	<b>A</b> わかる 相手が表現する内容を正しく捉えることができ、内容を理解することができる。	目的に応じた聞き方・読み方をすることができる。	できないことに挑戦し、他と協働しながら問題解決へ向かおうとすることができる。
基	<b>B</b> できる 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解できる。	適切な用語・要点を捉えることができる。	できないところを人に聞いたり、他の者が困っているときに一緒に考察することができる。
準	<b>C</b> する 基本文や基本問題を読んだり、解くことができる。	新出単語や表現について理解し、適切に用いることができる。	授業に臨むための準備ができています。(教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など)
評価方法	授業・定期考査・音読テスト	授業・定期考査・提出物・プレゼンテーション	授業・提出物・インタビューテスト

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	that節
2 学期	疑問詞+to+不定詞 分詞構文
3 学期	関係代名詞what 過去完了形

何で学ぶか(教材)

数研出版『Revised COMET ENGLISH Communication II』 数研出版 COMET コメント英単語 プリント
--

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習 タブレット教材
-----------------------

科目名	英会話	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志 コース	キャリア・公務員
目標	英語表現を覚えたり表現できるようになり、身近な話題について英語で会話する能力を養う。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 基 準	<i>S</i> 使える An advanced understanding of vocabulary & key expressions	An advanced written & verbal usage of vocab & key expressions	All tasks diligently completed in a timely manner
<i>A</i> わかる	An upper intermediate understanding of vocabulary & key expressions	An advanced written & verbal usage of vocab & key expressions	Above-average completion of all tasks with minimal supervision
<i>B</i> できる	An intermediate understanding of vocabulary & key expressions	An intermediate written & verbal usage of vocab & key expressions	All tasks completed but requires supervision
<i>C</i> する	An elementary understanding of vocabulary & key expressions	An elementary written & verbal usage of vocab & key expressions	Constant supervision & reminding of the task at hand required
評価方法	Written test	Oral test	Class supervision & observation

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	Lesson 1 - I like meeting new people (expressing likes), Lesson 2 - I usually wake up at 7 (daily routine), Lesson 3 - We're taking a trip (making a plan), Lesson 4 - How about going to ... (making a proposal)
2 学期	Lesson 5 - You should take your ... (giving advice), Lesson 6 - We are not allowed to ... (Talking about cans & cannots), Lesson 7 - How was your vacation (How was/were/did" questions), Lesson 8 - I used to live in America ("How long ... " questions)
3 学期	

何で学ぶか(教材)

<ul style="list-style-type: none"> <li>Textbook "Atlantis English Conversation"</li> <li>Various supplementary materials (prints, etc.)</li> </ul>
--

どのように学ぶか(授業方法など)

Each lesson will introduce a different set of target vocabulary & grammar which the students will use in listening, speaking, writing & reading exercises.
--

科目名	現代文B	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志	コース キャリア・公務員
目標	文学作品を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解により、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。また、現代社会で求められる言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価 基準	S 使える	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけて活用することができる。	相手や場に応じて効果的に話し的確に聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを発展させている。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる。客観的に主体的に思考、判断することができる。	
	A わかる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	相手や場に応じて話し聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章が書ける。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる力を磨く。客観的に主体的に思考、判断する力を磨く。	
	B できる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけようと努力する。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解することができる。自分の考えを文章にまとめられる。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現しようと努力する。客観的に主体的に思考、判断できる力をつけようと努力する。	
	C する	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて学習意欲を持つ。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解しようとする姿勢を持つ。自分での考えを深めようとする学習意欲を持つ。	主体的に学習活動に参加し、学習意欲を持つ。	
評価方法	授業態度の観察 定期考査 提出 スト	定期課題 漢字テ	授業態度の観察 定期考査 提出	定期課題 作文	授業態度・姿勢・準備 グループ活動への取組

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	『はじめての失敗』(随想) 『言葉を理解する』(評論) 『マスク』(小説) 小テスト、作文コンクール、漢字テスト
2 学期	『博士の愛した数式』(小説) 『おまえはどこに立っている』(随想) 『小説とは何か』(評論) 小テスト、作文、漢字テスト
3 学期	

何で学ぶか(教材)

教科書「新高等学校現代文B」明治書院 教科書「新高等学校現代文B学習課題ノート」明治書院 「常用国語便覧」浜島書店 「新版高校漢字必携」第一学習社編集部 各種プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習(発表) グループ学習(発表)
------------------------------

科目名	商品開発	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース キャリア・公務員
目標	商品開発に関する知識と技術を習得させ、顧客満足を実現することの重要性について理解させるとともに、商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 標準	S 使える 商品を企画・開発し、流通させるために必要な技術、商品開発に必要なデザインに関する技術を身に付け、活用することができるか。	商品開発に関する基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断できる。	商品活動に関する諸活動を主体的に考える、実践的な態度を身に付けているか。
	A わかる 顧客満足を実現することの重要性について理解しているか。	商品開発に関する諸活動への適切な対応を目指して、思考を深めているか。	消費者の視点に立った商品の企画・開発・流通に主体的に取り組もうとしているか。
	B できる 商品開発に関する基礎的な知識を理解できる。	語句の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	商品開発について関心を持って取り組むことができる。
	C する 商品開発に関する重要語句が理解できる。	語句の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	授業を受けるための準備ができていない（教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など）。
評価方法	授業・定期考査 提出物・実習	授業・定期考査 提出物	授業・実習・グループ活動

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	デザインの基礎 パッケージデザイン グラフィックデザイン 知的財産権の内容
2 学期	知的財産権の取得 知的財産権の活用 流通の仕組みと市場 物流と流通を支えるその他の活動
3 学期	総合実習

何で学ぶか(教材)

教科書 商品開発 実教出版
問題集 商品開発 実教出版

どのように学ぶか(授業方法など)

教科書を中心とする講義形式 グループ活動
-------------------------

科目名	体育	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース・学年	研志 コース	キャリア探究・公務員
目標	各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 標準	S 使える	実践の中で技術や戦術、正しい知識を用いて、楽しく安全に戦うことができる。	瞬時に変わるゲームの中で状況を適切に判断し、プレーをしたり指示を出すことができる。	問題解決の過程を振り返り、考察し、自ら評価・改善しようとするができる。
	A わかる	戦術や技術を適切な場面で生かし、集団・チームの仲間と協力してプレーできる。	自分の役割を理解し、より大きな力を発揮するために、集団で取り組むことができる。	客観的な意見や映像をもとに、自らの改善点を研究できる。他者が困っている時は声を掛け合い、共に考察することができる。
	B できる	基礎練習を正しくおこなない、競技に応じた技術を身に付けている。	ゲームをする上で必要な技術を理解し、またその競技のルール等を熟知している。	できないことに挑戦し、他と協働しながら問題解決へ向かおうとすることができる。
	C する	基本的な身体機能を理解し、基礎体力を身に付けている。	健康健全な身体を求め、機能解剖やトレーニング方法、また食育、栄養学などを理解している。	授業を受けるための準備ができています。(教材準備・服装・身のまわりの整理整頓など)
評価方法	授業中の行動 実技テスト	授業中の行動 実技テスト	授業中の行動 年間を通しての出席状況	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	体づくり運動 体力テスト 陸上競技
2 学期	バレーボール ソフトボール サッカー バスケットボール
3 学期	バドミントン ダンス

何で学ぶか(教材)

大修館書店『最新高等保健体育』 大修館書店『最新高等保健体育ノート』 プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

基礎練習 実戦練習 (ゲーム) チーム練習・戦略会議 iPadによる分析
---

科目名	電子商取引	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース キャリア・公務員
目標	情報通信ネットワークを活用した商取引や、広報活動に必要な文書に関する知識と技術を習得させ、各種メディアで作成した情報を統合させることの重要性について理解させるとともに、電子商取引に応用する能力と態度を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 基準	S 使える 相手に分かりやすく伝えるための資料作成や表現方法を身につけさせ効果的な発表ができる。	使用するソフトウェアの操作方法を習得し、適切な文書や作品をWebページデザインとして作成することができる。	効果的な広報活動に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。
	A わかる Webデザインに必要な知識を理解できる。	情報モラルやマナーを守る必要性を理解することができる。	電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を学ぼうとしている。
	B できる 電子商取引に関する基礎的な知識を理解できる。	語句の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	電子商取引について関心を持って取り組むことができる。
	C する 電子商取引に関する重要語句が理解できる。	語句の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	授業を受けるための準備ができています（教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など）。
評価方法	授業・定期考査 提出物・実習	授業・定期考査 提出物	授業・実習・グループ活動

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	情報通信技術の進歩とビジネス コンテンツの作成
2 学期	ウェブデザインと広告と広報 ウェブページの公開 電子商取引とビジネス
3 学期	電子商取引とビジネス

何で学ぶか(教材)

教科書 電子商取引 実教出版
-------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

教科書を中心とする講義形式 グループ活動 PC実習
---------------------------------

科目名	ビジネスマナー	授業時数	週 2 単位
		コース・学年	研志 コース 3 学年
目標	ビジネスに関するマナーとコミュニケーションの知識・技術を習得し、ビジネスの諸活動における円滑な人間関係を築く能力と態度を育てる。秘書検定取得に取り組む。		

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	S 使える 日常生活の場面で応用することができる。	日常生活でのマナーに関する知識の活用方法を適切に判断し、コミュニケーション力を身につけることができる。	ビジネスマナーを理解し、効果的にコミュニケーションを行うことができる。
	A わかる 挨拶や好感を与える立ち居振る舞い、身だしなみの重要性を理解する。	マナーやコミュニケーションについての思考を深め、自身の現状を適切に把握することができる。	ビジネスマナーやコミュニケーションについて主体的に考え、発表し合うことができる。
	基 B できる ビジネスマナーに関する基礎的な知識を理解できる。	語句の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	ビジネスマナーとコミュニケーションの諸活動に広い関心がある。
	準 C する ビジネスマナーに関する重要語句が理解できる。	語句の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	授業を受けるための準備ができていない（教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など）。
評価方法	授業・定期考査 提出物・実習	授業・定期考査 提出物	授業・実習

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	ビジネスマナーにおける 理論、実技の要点 必要とされる資質、職務意識 一般意識、マナー・接遇、技能
2 学期	秘書検定過去問題集演習
3 学期	社会人としての心構え

何で学ぶか(教材)

問題集 秘書検定3級実問題集 早稲田教育出版
------------------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 グループ活動 実習
--------------------

科目名	一般教養演習	授業時数	週 2 単位
		コース・学年	コース 3 学年
目標	公務員、就職試験に向けて様々な検定などを用いながら、実社会で活用できる表現力、一般常識の向上を図る。		

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価基準	S 使える	日々の重要ニュースについて、その背景に含まれている問題点、社会的な意味、今後の見通しなどを考えることができる。	公務員試験や就職試験の演習において、正しく解答することができる。	目標を設定し、到達できるまで繰り返し学習する。
	A わかる	社会事象についてメディアなどから必要な情報を読み取ることができる。正しい敬語を用いて話すことができる。	問題演習において、根拠をもって正しく解答できる。	時事問題に興味をもち、社会人としての知識を養う姿勢がある。
	B できる	漢字や言葉の意味、簡単な計算など正しく理解できる。	語句の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	社会事象について興味を持ち、自身の生活との関わりを意識する。
	C する	一般常識修得の重要性を理解できる。	一般教養演習の必要性を理解し、興味を持つことができる。	授業を受けるための準備ができていない(教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など)。
評価方法	授業・定期考査 提出物	授業・定期考査 提出物	授業・提出物	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	SPI 言語分野、非言語分野 時事問題 ニュース検定問題集等
2 学期	面接の受け方、答え方 SPI 時事問題
3 学期	社会人になる心構え

何で学ぶか(教材)

テキスト、問題集 ニュース検定 毎日新聞出版 SPIベーシック問題集 実務教育出版
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 演習
----------

科目名	簡易ソフト	授業時数	週 4 単位
		コース・学年	研志 コース 3 学年
目標	ビジネスに関する情報を収集、処理、分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。		

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評	S 使える 情報を適切に収集、処理、発信する技能を習得し活用できる。	情報を収集、処理、発信する場合に、方法を工夫したり、目的に応じて手段や方法を改善できる。	情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行うことができる。
価	A わかる 情報を適切に収集、処理、発信するための基礎的な知識を身につけている。	情報を収集、処理、発信する場合に、方法を工夫したり、目的に応じて手段や方法を判断できる。	表計算ソフトウェア（Excel）の習得に積極的に取り組んでいる。
基	B できる 情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。	情報モラルを理解できている。	コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持ち取り組んでいる。
準	C する 情報に関する重要語句が理解できる。	語句の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	授業を受けるための準備ができている（教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など）。
評価方法	授業・定期考査・検定	授業・定期考査	授業・定期考査

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	情報の活用と情報モラル ビジネスと情報 表、グラフの作成 PowerPointの操作
2 学期	ビジネス情報の処理と分析 関数の利用 表、グラフの作成 プレゼンテーション
3 学期	プレゼンテーション

何で学ぶか(教材)

全商情報処理検定 模擬試験問題集
---------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 PC実習
------------

科目名	現代文B	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志	コース <small>保育・幼児教育系進学</small>
目標	文学作品を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解により、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。また、現代社会で求められる言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価 基準	S 使える	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけて活用することができる。	相手や場に応じて効果的に話し的確に聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを発展させている。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる。客観的に主体的に思考、判断することができる。	
	A わかる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	相手や場に応じて話し聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章が書ける。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる力を磨く。客観的に主体的に思考、判断する力を磨く。	
	B できる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけようと努力する。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解することができる。自分の考えを文章にまとめられる。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現しようと努力する。客観的に主体的に思考、判断できる力をつけようと努力する。	
	C する	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて学習意欲を持つ。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解しようとする姿勢を持つ。自分での考えを深めようとする学習意欲を持つ。	主体的に学習活動に参加し、学習意欲を持つ。	
評価方法	授業態度の観察 定期考査 提出 スト	定期 課題 漢字テ	授業態度の観察 定期考査 提出	定期 課題 作文	授業態度・姿勢・準備 グループ活動への取組

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	『はじめての失敗』(随想) 『言葉を理解する』(評論) 『マスク』(小説) 小テスト、作文コンクール、漢字テスト
2 学期	『博士の愛した数式』(小説) 『おまえはどこに立っている』(随想) 『小説とは何か』(評論) 小テスト、作文、漢字テスト
3 学期	

何で学ぶか(教材)

教科書「新高等学校現代文B」明治書院 教科書「新高等学校現代文B学習課題ノート」明治書院 「常用国語便覧」浜島書店 「新版高校漢字必携」第一学習社編集部 各種プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習(発表) グループ学習(発表)
------------------------------

科目名	音楽演習	授業時数	週 2 単位
目標	保育・幼児教育で取り扱う教材や、それらを展開するために必要なピアノ演奏技術を身に付ける。		
	コース・学年	研志保育・幼児教育コース	3 学年

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 S 使える A わかる B できる C する	大譜表の読み方を理解し、鍵盤を見なくても正しい姿勢と運指で演奏することができる。	曲想に合わせたテンポとアーティキュレーションでハーモニーを感じながら鍵盤を見なくても演奏することができる。	目標を設定し、到達できるまで繰り返し練習することができる。
	アーティキュレーションを示す記号等を理解し、正しい姿勢と運指で演奏することができる。	曲想に合わせたテンポとアーティキュレーションで演奏することができる。	練習したことを他と聴きあい、互いに評価ができる。
	楽譜の読み方を理解し、正しい姿勢と運指で両手の演奏することができる。	曲想に合わせたテンポで演奏することができる。	できないところをできるようになるまで繰り返し練習することができる。
	正しい姿勢と運指で片手ずつの演奏することができる。	メトロノームに合わせ、正しいリズムで演奏することができる。	授業を受けるための準備ができています。(教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など)
評価方法	授業 実技テスト	授業 実技テスト	授業 実技テスト

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	全訳バイエルピアノ教本 P42～46
2 学期	全訳バイエルピアノ教本 P47～53
3 学期	全訳バイエルピアノ教本 P54～56

何で学ぶか(教材)

全訳バイエルピアノ教本 (全音楽譜出版社)
--------------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

個人・ペア練習 1ページごとにチェック
------------------------

教科名	美術演習	授業時数	週	2 単位
		コース・学年	研志 コース	3 学年
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の学習内容に関心をもち、制作や鑑賞へのあこがれや期待をもつ</li> <li>・幼児教育において、必要な図画・工作の技術を身につける。</li> </ul>			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 基 準	実践するために必要な知識を身につける	発達段階に応じた制作活動や技法を適切に判断できる	それぞれの技法の特徴や対象となる年齢を考える
使 え る 活 用 Ⅱ	目的に応じた道具や技術を選択する	様々な技法を用いて基礎的な制作をする	様々な技法について学ぼうとする
わ か る 習 得	幼児教育の中での芸術活動の意義と役割を理解する	幼児教育の諸活動において様々な技法を用いて表現できる	発達段階を意識し、様々な技法を用いて制作することができる
研志力(仮)	自己表現力, 計画力	自己表現力, 計画力	自己表現力, 計画力
評価方法	課題の提出	課題の提出	課題の提出

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学 期	4月 オリエンテーション 5, 6月 折り紙を用いた制作 7, 8月 似顔絵の制作
2 学 期	9月 オリジナル季節ポスターの作成 10, 11月 紙芝居の制作 12月 粘土の制作
3 学 期	

何で学ぶか(教材)

折り紙, 画用紙, 色鉛筆 クレヨン, 粘土 等
-----------------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

講義, 演習
--------

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志	コース 保育・幼児教育
目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基 準	<b>S</b> 使える	未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすることができる。	まとまりのある文章を思考・表現することができる。	多様な場面における言語活動に取り組むことができる。
	<b>A</b> わかる	相手が表現する内容を正しく捉えることができ、内容を理解することができる。	目的に応じた聞き方・読み方をすることができる。	できないことに挑戦し、他と協働しながら問題解決へ向かおうとすることができる。
	<b>B</b> できる	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解できる。	適切な用語・要点を捉えることができる。	できないところを人に聞いたり、他の者が困っているときに一緒に考察することができる。
	<b>C</b> する	基本文や基本問題を読んだり、解くことができる。	新出単語や表現について理解し、適切に用いることができる。	授業に臨むための準備ができています。(教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など)
評価方法	授業・定期考査・音読テスト	授業・定期考査・提出物・プレゼンテーション	授業・提出物・インタビューテスト	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	that節
2 学期	疑問詞+to+不定詞 分詞構文
3 学期	関係代名詞what 過去完了形

何で学ぶか(教材)

数研出版『Revised COMET ENGLISH Communication II』 数研出版 COMET コメット英単語 プリント
--

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習 タブレット教材
-----------------------

科目名	フードデザイン	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース <small>保育・幼児教育系進学</small>
目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基 準	S 使える	食事の役割と意義について理解し、食事を構成する栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を習得し、実践することができる。	自分自身の食生活や食環境が大きく変化している現状に課題を見つけ、思考を深めることができ、考えをまとめて判断・表現ができる。	食の役割に関心を持ち、作るところから食べるところまでを総合的に捉えて計画する意欲と実践的な態度を身につけ、主体的に行動することができる。
	A わかる	食事の役割と意義について理解し、食事を構成する栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を習得している。	自分自身の食生活や食環境の現状に課題を見つけ、思考を深めることができ、判断・表現ができる。	食の役割に関心を持ち、作るところから食べるところまでを総合的に捉えて計画する意欲と実践的な態度を身につけようとする。
	B できる	食事の意義や役割を理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。	食生活や食環境の現状に課題を見つけ、判断ができる。	食の役割に関心を持ち、作る・食べる計画をたてることができる。
	C する	食事の役割と意義について基礎的・基本的な知識を身につけている。	食生活や食環境の現状に課題を考えることができる。	授業を受けるための準備ができています。(教材準備・身のまわりの整理整頓など)
評価方法	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 年間を通しての出席状況	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	食生活と健康 栄養素のはたらきと食事計画
2 学期	栄養素のはたらきと食事計画 調理の基本 料理様式とテーブルコーディネート
3 学期	フードデザイン実習 食育

何で学ぶか(教材)

フードデザイン (実教出版) フードデザイン学習ノート (実教出版) プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 実習 講演
----------------

科目名	英会話	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志 コース	<small>保育・幼児教育系進学</small>
目標	英語表現を覚えたり表現できるようになり、身近な話題について英語で会話する能力を養う。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 基 準	<i>S</i> 使える An advanced understanding of vocabulary & key expressions	An advanced written & verbal usage of vocab & key expressions	All tasks diligently completed in a timely manner
<i>A</i> わかる	An upper intermediate understanding of vocabulary & key expressions	An advanced written & verbal usage of vocab & key expressions	Above-average completion of all tasks with minimal supervision
<i>B</i> できる	An intermediate understanding of vocabulary & key expressions	An intermediate written & verbal usage of vocab & key expressions	All tasks completed but requires supervision
<i>C</i> する	An elementary understanding of vocabulary & key expressions	An elementary written & verbal usage of vocab & key expressions	Constant supervision & reminding of the task at hand required
評価方法	Written test	Oral test	Class supervision & observation

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	Lesson 1 - I like meeting new people (expressing likes), Lesson 2 - I usually wake up at 7 (daily routine), Lesson 3 - We're taking a trip (making a plan), Lesson 4 - How about going to ... (making a proposal)
2 学期	Lesson 5 - You should take your ... (giving advice), Lesson 6 - We are not allowed to ... (Talking about cans & cannots), Lesson 7 - How was your vacation (How was/were/did" questions), Lesson 8 - I used to live in America ("How long ... " questions)
3 学期	

何で学ぶか(教材)

<ul style="list-style-type: none"> <li>Textbook "Atlantis English Conversation"</li> <li>Various supplementary materials (prints, etc.)</li> </ul>
--

どのように学ぶか(授業方法など)

Each lesson will introduce a different set of target vocabulary & grammar which the students will use in listening, speaking, writing & reading exercises.
--

科目名	子どもの発達と保育	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース 幼児教育系進学
目標	乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 乳幼児の健全な成長に関心を持ち、乳幼児に関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	少子高齢化への対応や、持続可能な社会の構築、食育の促進、男女共同参画社会の推進等をふまえて、自立して生活する知識や技術を身につけ、実践することができる。	乳幼児の保育について課題を見だし、その解決を目指して思考を深めることができる。生涯にわたって適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	他者と、異なる世代との関わりを主体的に持ち、共に生きる力を育てる実践的な態度を身につけ、乳幼児の健全な成長に関心を持っている。
基	少子高齢化への対応や、持続可能な社会の構築、食育の促進、男女共同参画社会の推進等をふまえて、自立して生活する能力を身につけている。	乳幼児の保育について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	異なる世代との関わりを主体的に持ち、共に生きる力を育てる態度を身につけている。
準	乳幼児の生活と保育に関する基礎的な技術・知識を習得し、自立して生活する能力を身につけている。	乳幼児の保育について課題を見だし、その解決を目指すことができる	異なる世代との関わりを主体的に持つ態度を身につけている。
	乳幼児の生活と保育に関する基礎的な技術・知識を習得している。	乳幼児の保育について課題を見だす努力ができる。	授業を受けるための準備ができています。(教材準備・身のまわりの整理整頓など)
評価方法	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 年間を通しての出席状況

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	子どもの生活 生活と養護 子どもの遊び 生活習慣、健康管理
2 学期	子どもの保育 保育の意義と重要性 家庭保育と集団保育 子どもの福祉
3 学期	子育て支援

何で学ぶか(教材)

家庭305 子どもの発達と保育 (実教出版) 子どもの発達と保育学習ノート (実教出版) プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 実習 講演 グループ学習 作品制作
----------------------------------

科目名	数学演習	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース <small>保育・幼児教育系進学</small>
目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基準	S 使える	数学的な考え方を理解し、様々な事象に応用することが出来る。	事象を論理的、かつ統合的・発展的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	問題に直面したとき、数学的な考え方を使得って論理的に思考することが出来る。
	A わかる	応用問題に対して、適切な公式を用いて論理的に解くことが出来る。	1つ1つの考え方や、数学的な思考を論理的に、適切に順序立てて他者に説明することが出来る。	様々な問題に取り組み、他者と協力しながら解き進めることが出来る。
	B できる	標準的な問題に対して、適切な公式、考え方をを用いて解くことが出来る。	論理的に順序立てた回答を作成することが出来る。	できないところは解答解説を参考にしたり、他者に聞くなどして試行錯誤しながら解くことが出来る。
	C する	類題の解答解説を参考にしながら解くことが出来る。	問題文の意味を理解し、解答解説を参考にしながら、回答を作成することが出来る。	あたえられた課題に取り組み、期限内に提出物を提出することが出来る。
評価方法	授業・定期考査・小テスト	授業・定期考査・提出物	授業・提出物	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	SPI対策 就職試験対策
2 学期	2次関数のグラフ 2次方程式と2次不等式 三角比 場合の数と確率
3 学期	就職試験対策

何で学ぶか(教材)

数研出版『改訂版 最新数学 I』
数研出版『改訂版 最新数学A』
数研出版『改訂版 3ROUND数学 I +A』
プリント

どのように学ぶか(授業方法など)

講義
ペア学習・グループ学習

科目名	体育	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース・学年	研志 コース	保育・幼児教育系進学
目標	各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 標準	S 使える	実践の中で技術や戦術、正しい知識を用いて、楽しく安全に戦うことができる。	瞬時に変わるゲームの中で状況を適切に判断し、プレーをしたり指示を出すことができる。	問題解決の過程を振り返り、考察し、自ら評価・改善しようとすることができる。
	A わかる	戦術や技術を適切な場面で生かし、集団・チームの仲間と協力してプレーできる。	自分の役割を理解し、より大きな力を発揮するために、集団で取り組むことができる。	客観的な意見や映像をもとに、自らの改善点を研究できる。他者が困っている時は声を掛け合い、共に考察することができる。
	B できる	基礎練習を正しくおこなない、競技に応じた技術を身に付けている。	ゲームをする上で必要な技術を理解し、またその競技のルール等を熟知している。	できないことに挑戦し、他と協働しながら問題解決へ向かおうとすることができる。
	C する	基本的な身体機能を理解し、基礎体力を身に付けている。	健康健全な身体を求め、機能解剖やトレーニング方法、また食育、栄養学などを理解している。	授業を受けるための準備ができています。(教材準備・服装・身のまわりの整理整頓など)
評価方法	授業中の行動 実技テスト	授業中の行動 実技テスト	授業中の行動 年間を通しての出席状況	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	体づくり運動 体力テスト 陸上競技
2 学期	バレーボール ソフトボール サッカー バスケットボール
3 学期	バドミントン ダンス

何で学ぶか(教材)

大修館書店『最新高等保健体育』 大修館書店『最新高等保健体育ノート』 プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

基礎練習 実戦練習 (ゲーム) チーム練習・戦略会議 iPadによる分析
---

科目名	簡易ソフト	授業時数	週	2 単位
		コース・学年	研志	コース
				3 学年
目標	ビジネスに関する情報を収集、処理、分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評	S 使える 情報を適切に収集、処理、発信する技能を習得し活用できる。	情報を収集、処理、発信する場合に、方法を工夫したり、目的に応じて手段や方法を改善できる。	情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行うことができる。
価	A わかる 情報を適切に収集、処理、発信するための基礎的な知識を身につけている。	情報を収集、処理、発信する場合に、方法を工夫したり、目的に応じて手段や方法を判断できる。	表計算ソフトウェア（Excel）の習得に積極的に取り組んでいる。
基	B できる 情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。	情報モラルを理解できている。	コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持ち取り組んでいる。
準	C する 情報に関する重要語句が理解できる。	語句の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	授業を受けるための準備ができていない（教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など）。
評価方法	授業・定期考査・検定	授業・定期考査	授業・定期考査

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	情報の活用と情報モラル ビジネスと情報 表、グラフの作成
2 学期	ビジネス情報の処理と分析 関数の利用 PowerPoint操作 プレゼンテーション
3 学期	プレゼンテーション

何で学ぶか(教材)

全商情報処理検定 模擬試験問題集
---------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 PC実習
------------

教科名	自己表現	授業時数	週	2 単位
		コース・学年	研志 コース	3 学年
目標	・乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 ・子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもにかかわる意欲や能力、実践的な態度を身につける。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 使える 活用Ⅱ	・子どもの発達段階に即したかかわりをする	・子どもが関心を抱くものを作成・表現する	・子どもの発達に関心をもつ
評価 できる 活用Ⅰ	・子どもの発達段階路理解する	・子どもが関心を抱くものを見いだす	・保育に対する関心をもつ
準 わかる 習得	・子どもの発達段階に応じた対応を身につける	・子どもの発達段階や興味関心によって個々に応じた対応をする	・子どもに関心を持ち、意欲的に子どもとかかわろうとする
研志力(仮)	整理・分析力、行動力 他者受容力	整理・分析力、行動力 他者受容力、自己表現力	整理・分析力、行動力 他者受容力、自己表現力
評価方法	・定期考査 ・保育実習	・保育実習 ・総合発表会等準備	・保育実習 ・総合発表会等準備

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	4月 オリエンテーション 5～7月 幼稚園実習 ・施設見学、給食補助 ・保育への参加 ・表現・リズム遊び ・絵本の読み聞かせ
2 学期	8～10月 幼稚園実習 ・運動会・発表会の練習補助、見学 9～12月 幼稚園実習、総合発表会の準備 ・グループワークによる調べ学習 ・作品作り
3 学期	

何で学ぶか(教材)

--

どのように学ぶか(授業方法など)

講義、演習、実習
----------

教科名	家庭	科目名	子ども文化	単位数	2単位
対象学年	第3学年	対象コース	研志コース(保育・幼教)	履修形態	選択必修
科目の目標	1. 乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 2. 子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。				
学習内容の概要	保育関係に就職したときに必要となる折り紙や絵本の読み聞かせを練習し、子どもが楽しめるような作品を制作する。さらに幼稚園実習を通して実践的な力を養う。また知識の習得のため保育技術検定の取得も行う。				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	保育に対する関心を持ち、子どもの発達に関して意欲的に学習する態度を身につけている。	作品づくりを通して、子どもが関心を抱くものを見いだすことができる。	作品づくりや実習を通して、子どもが関心を抱くものを作成する能力と技術を身につけている。	子どもの発達段階を理解し、発達段階に応じた対応を身につけている。	
教科書、教材など	教科書:「子ども文化」(教育図書) 講義について: コース単位による授業 実験実習について: グループによる展開				
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)				

年 間 授 業 計 画

学期	月	単 元	単 元 の 目 標	学 習 内 容 (実 験 ・ 実 習 等)	時 間	評 価
1	4	オリエンテーション 幼稚園実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習で子どもや保育について実地で学び、子どもと適切にかかわる力を身につけさせる。</li> <li>・乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得させる。</li> <li>・子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につけさせる。</li> <li>・言葉だけでなく作品により自己紹介をさせる。</li> <li>・教室に掲示する季節ごとの掲示物をグループで作成させる。(夏)</li> <li>・様々な玩具づくりをさせる。</li> <li>・遊びの体験をさせる。</li> <li>・絵本の読み聞かせの練習をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の進め方について</li> <li>・子どもと直接かかわり、子ども理解を深める。</li> <li>・子どもの心身の発達発達を知る。</li> <li>・保育や保育者の役割について学ぶ。</li> <li>・自分への理解を深める。</li> <li>作品による自己紹介</li> <li>・運動会でパフォーマンスを披露する。</li> <li>・自己紹介をする。</li> <li>・見学、給食補助をする</li> <li>・掲示物作成をする。</li> <li>・表現遊び</li> <li>・リズム体操</li> <li>・リトミック</li> <li>・折り紙</li> <li>・絵本の読み聞かせ</li> <li>・玩具</li> <li>・歌遊び</li> <li>・手遊び</li> <li>・運動会練習補助をする</li> <li>・保育参加をする。</li> <li>・音楽・劇発表会の練習を見学する。</li> </ul>	6 6 8 8	(関心・意欲・態度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的にかかわりながら、理解しようとする。</li> <li>子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。</li> </ul> (思考・判断) <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる</li> </ul> (技能・表現) <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。</li> </ul> (知識・理解) <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。</li> <li>・言葉だけではなく自己紹介をいかに意欲的に取り組もうとしたか。</li> <li>・夏をテーマにした教室の掲示物を完成させることができたか。</li> <li>・折り紙を子どもが興味をもつような工夫を行うことができたか。</li> </ul>
	5					
	6					
	7					
2	8	発表会実践 (お話タイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習発表づくりをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園実習で発表する発表をグループで準備する。</li> <li>・調べ学習をする。</li> <li>・グループ発表する。(お話タイム)</li> <li>・幼稚園実習で発表する発表をグループで準備する。</li> <li>・調べ学習をする。</li> <li>・グループ発表する。(お話タイム)</li> </ul>	2 8 8 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習で子どもたちと積極的に触れ合い、子どもの接し方を学ぼうとしたか。</li> <li>・作品づくりに意欲的に取り組もうとしたか。</li> <li>・絵本の読み方を工夫したか。</li> <li>・紙芝居の読み方を工夫したか。</li> <li>・パフォーマンスの練習に意欲的に取り組もうとしたか。</li> </ul>
	9					
	10					
	11					
3	12				4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度学んだことを活かした発表をすることができたか。</li> </ul>
	1					

科目名	現代文B	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志	コース <small>看護医療福祉系進学</small>
目標	文学作品を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解により、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。また、現代社会で求められる言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価 基 準	S 使える	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけて活用することができる。	相手や場に応じて効果的に話し的確に聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを発展させている。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる。客観的に主体的に思考、判断することができる。	
	A わかる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	相手や場に応じて話し聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章が書ける。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる力を磨く。客観的に主体的に思考、判断する力を磨く。	
	B できる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけようと努力する。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解することができる。自分の考えを文章にまとめられる。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現しようと努力する。客観的に主体的に思考、判断できる力をつけようと努力する。	
	C する	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて学習意欲を持つ。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解しようとする姿勢を持つ。自分での考えを深めようとする学習意欲を持つ。	主体的に学習活動に参加し、学習意欲を持つ。	
評価方法	授業態度の観察 定期考査 提出 スト	定期 課題 漢字テ	授業態度の観察 定期考査 提出	定期 課題 作文	授業態度・姿勢・準備 グループ活動への取組

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	『はじめての失敗』(随想) 『言葉を理解する』(評論) 『マスク』(小説) 小テスト、作文コンクール、漢字テスト
2 学期	『博士の愛した数式』(小説) 『おまえはどこに立っている』(随想) 『小説とは何か』(評論) 小テスト、作文、漢字テスト
3 学期	

何で学ぶか(教材)

教科書「新高等学校現代文B」明治書院 教科書「新高等学校現代文B学習課題ノート」明治書院 「常用国語便覧」浜島書店 「新版高校漢字必携」第一学習社編集部 各種プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習(発表) グループ学習(発表)
------------------------------

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志	コース 看護医療福祉
目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基準	<b>S</b> 使える	未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすることができる。	まとまりのある文章を思考・表現することができる。	多様な場面における言語活動に取り組むことができる。
	<b>A</b> わかる	相手が表現する内容を正しく捉えることができ、内容を理解することができる。	目的に応じた聞き方・読み方をすることができる。	できないことに挑戦し、他と協働しながら問題解決へ向かおうとすることができる。
	<b>B</b> できる	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解できる。	適切な用語・要点を捉えることができる。	できないところを人に聞いたり、他の者が困っているときに一緒に考察することができる。
	<b>C</b> する	基本文や基本問題を読んだり、解くことができる。	新出単語や表現について理解し、適切に用いることができる。	授業に臨むための準備ができています。(教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など)
評価方法	授業・定期考査・音読テスト	授業・定期考査・提出物・プレゼンテーション	授業・提出物・インタビューテスト	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	that節
2 学期	疑問詞+to+不定詞 分詞構文
3 学期	関係代名詞what 過去完了形

何で学ぶか(教材)

数研出版『Revised COMET ENGLISH Communication II』 数研出版 COMET コメント英単語 プリント
--

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習 タブレット教材
-----------------------

科目名	フードデザイン	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース <small>看護医療福祉系進学</small>
目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基準	S 使える	食事の役割と意義について理解し、食事を構成する栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を習得し、実践することができる。	自分自身の食生活や食環境が大きく変化している現状に課題を見つけ、思考を深めることができ、考えをまとめて判断・表現ができる。	食の役割に関心を持ち、作るところから食べるところまでを総合的に捉えて計画する意欲と実践的な態度を身につけ、主体的に行動することができる。
	A わかる	食事の役割と意義について理解し、食事を構成する栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を習得している。	自分自身の食生活や食環境の現状に課題を見つけ、思考を深めることができ、判断・表現ができる。	食の役割に関心を持ち、作るところから食べるところまでを総合的に捉えて計画する意欲と実践的な態度を身につけようとする。
	B できる	食事の意義や役割を理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。	食生活や食環境の現状に課題を見つけ、判断ができる。	食の役割に関心を持ち、作る・食べる計画をたてることことができる。
	C する	食事の役割と意義について基礎的・基本的な知識を身につけている。	食生活や食環境の現状に課題を考えることができる。	授業を受けるための準備ができています。(教材準備・身のまわりの整理整頓など)
評価方法	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 年間を通しての出席状況	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	食生活と健康 栄養素のはたらきと食事計画
2 学期	栄養素のはたらきと食事計画 調理の基本 料理様式とテーブルコーディネート
3 学期	フードデザイン実習 食育

何で学ぶか(教材)

フードデザイン (実教出版) フードデザイン学習ノート (実教出版) プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 実習 講演
----------------

科目名	英会話	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志 コース	看護医療福祉系進学
目標	英語表現を覚えたり表現できるようになり、身近な話題について英語で会話する能力を養う。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 基 準	<i>S</i> 使える An advanced understanding of vocabulary & key expressions	An advanced written & verbal usage of vocab & key expressions	All tasks diligently completed in a timely manner
<i>A</i> わかる	An upper intermediate understanding of vocabulary & key expressions	An advanced written & verbal usage of vocab & key expressions	Above-average completion of all tasks with minimal supervision
<i>B</i> できる	An intermediate understanding of vocabulary & key expressions	An intermediate written & verbal usage of vocab & key expressions	All tasks completed but requires supervision
<i>C</i> する	An elementary understanding of vocabulary & key expressions	An elementary written & verbal usage of vocab & key expressions	Constant supervision & reminding of the task at hand required
評価方法	Written test	Oral test	Class supervision & observation

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	Lesson 1 - I like meeting new people (expressing likes), Lesson 2 - I usually wake up at 7 (daily routine), Lesson 3 - We're taking a trip (making a plan), Lesson 4 - How about going to ... (making a proposal)
2 学期	Lesson 5 - You should take your ... (giving advice), Lesson 6 - We are not allowed to ... (Talking about cans & cannots), Lesson 7 - How was your vacation (How was/were/did" questions), Lesson 8 - I used to live in America ("How long ... " questions)
3 学期	

何で学ぶか(教材)

<ul style="list-style-type: none"> <li>Textbook "Atlantis English Conversation"</li> <li>Various supplementary materials (prints, etc.)</li> </ul>
--

どのように学ぶか(授業方法など)

Each lesson will introduce a different set of target vocabulary & grammar which the students will use in listening, speaking, writing & reading exercises.
--

科目名	数学演習	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース <small>看護医療福祉系進学</small>
目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基準	S 使える	数学的な考え方を理解し、様々な事象に応用することが出来る。	事象を論理的、かつ統合的・発展的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	問題に直面したとき、数学的な考え方を使って論理的に思考することが出来る。
	A わかる	応用問題に対して、適切な公式を用いて論理的に解くことが出来る。	1つ1つの考え方や、数学的な思考を論理的に、適切に順序立てて他者に説明することが出来る。	様々な問題に取り組み、他者と協力しながら解き進めることが出来る。
	B できる	標準的な問題に対して、適切な公式、考え方をを用いて解くことが出来る。	論理的に順序立てた回答を作成することが出来る。	できないところは解答解説を参考にしたり、他者に聞くなどして試行錯誤しながら解くことが出来る。
	C する	類題の解答解説を参考にしながら解くことが出来る。	問題文の意味を理解し、解答解説を参考にしながら、回答を作成することが出来る。	あたえられた課題に取り組み、期限内に提出物を提出することが出来る。
評価方法	授業・定期考査・小テスト	授業・定期考査・提出物	授業・提出物	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	SPI対策 就職試験対策
2 学期	2次関数のグラフ 2次方程式と2次不等式 三角比 場合の数と確率
3 学期	就職試験対策

何で学ぶか(教材)

数研出版『改訂版 最新数学 I』
数研出版『改訂版 最新数学A』
数研出版『改訂版 3ROUND数学 I +A』
プリント

どのように学ぶか(授業方法など)

講義
ペア学習・グループ学習

科目名	生活と福祉	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース <small>看護医療福祉系進学</small>
目標	家庭看護の基礎的な技術を習得し、高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得させ、高齢者の生活の質を高めるとともに自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 標準	S 使える	家庭看護の基礎的な技術を習得し、高齢者の生活の質を高めるとともに自立生活支援と福祉の充実にについての知識を習得している。	被介護者の気持ちを理解して言動するように努力する態度を身に付けており、実践することができる。	毎時間の実習を意欲的に取り組む姿勢と介護について理解しようと努力する態度を身に付けており、主体的に他者と協同して課題解決に向け取り組むことができる。
	A わかる	家庭看護の基礎的な技術を習得し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実にについての知識を習得している。	被介護者の気持ちを理解して言動するように努力する態度を身に付けている。	毎時間の実習を意欲的に取り組む姿勢と介護について理解しようと努力する態度を身に付けている。
	B できる	家庭看護の基礎的な技術を習得し、福祉の充実にについての知識を習得している。	被介護者の気持ちを理解して言動するように努力している。	介護について理解しようと努力する態度を身に付けている。
	C する	家庭看護の基礎的な技術・知識を習得している。	被介護者の気持ちを理解しようとしている。	授業を受けるための準備ができています。(教材準備・身のまわりの整理整頓など)
評価方法	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 年間を通しての出席状況	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	人の一生と生活・健康 高齢者の現状と高齢者の特徴
2 学期	高齢者の自立支援 自立支援の基本的となる考え方 高齢者介護
3 学期	高齢者支援の法律と制度 地域包括ケアシステム

何で学ぶか(教材)

生活と福祉 (実教出版) 生活と福祉学習ノート (実教出版) プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 介護実習 講演 体験実習
--------------------------

科目名	体育	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース・学年	研志 コース	看護医療福祉系進学
目標	各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評	S 使える 実践の中で技術や戦術、正しい知識を用いて、楽しく安全に戦うことができる。	瞬時に変わるゲームの中で状況を適切に判断し、プレーをしたり指示を出すことができる。	問題解決の過程を振り返り、考察し、自ら評価・改善しようとするができる。
価	A わかる 戦術や技術を適切な場面で生かし、集団・チームの仲間と協力してプレーできる。	自分の役割を理解し、より大きな力を発揮するために、集団で取り組むことができる。	客観的な意見や映像をもとに、自らの改善点を研究できる。他者が困っている時は声を掛け合い、共に考察することができる。
基	B できる 基礎練習を正しくおこなない、競技に応じた技術を身に付けている。	ゲームをする上で必要な技術を理解し、またその競技のルール等を熟知している。	できないことに挑戦し、他と協働しながら問題解決へ向かおうとすることができる。
準	C する 基本的な身体機能を理解し、基礎体力を身に付けている。	健康健全な身体を求め、機能解剖やトレーニング方法、また食育、栄養学などを理解している。	授業を受けるための準備ができています。(教材準備・服装・身のまわりの整理整頓など)
評価方法	授業中の行動 実技テスト	授業中の行動 実技テスト	授業中の行動 年間を通しての出席状況

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	体づくり運動 体力テスト 陸上競技
2 学期	バレーボール ソフトボール サッカー バスケットボール
3 学期	バドミントン ダンス

何で学ぶか(教材)

大修館書店『最新高等保健体育』 大修館書店『最新高等保健体育ノート』 プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

基礎練習 実戦練習 (ゲーム) チーム練習・戦略会議 iPadによる分析
---

科目名	子どもの発達と保育	授業時数	週 2 単位
目 標	乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 乳幼児の健全な成長に関心を持ち、乳幼児に関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。		
		コース・学年	研志・看護医療 コース 3 学年

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価			
S 使える	少子高齢化への対応や、持続可能な社会の構築、食育の促進、男女共同参画社会の推進等をふまえて、自立して生活する知識や技術を身につけ、実践することができる。	乳幼児の保育について課題を見だし、その解決を目指す思考を深めることができる。生涯にわたって適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	他者と、異なる世代との関わりを主体的に持ち、共に生きる力を育てる実践的な態度を身につけ、乳幼児の健全な成長に関心を持っている。
A わかる	少子高齢化への対応や、持続可能な社会の構築、食育の促進、男女共同参画社会の推進等をふまえて、自立して生活する能力を身につけている。	乳幼児の保育について課題を見だし、その解決を目指す思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	異なる世代との関わりを主体的に持ち、共に生きる力を育てる態度を身につけている。
基 B できる	乳幼児の生活と保育に関する基礎的な技術・知識を習得し、自立して生活する能力を身につけている。	乳幼児の保育について課題を見だし、その解決を目指す思考を深めることができる。	異なる世代との関わりを主体的に持つ態度を身につけている。
準 C する	乳幼児の生活と保育に関する基礎的な技術・知識を習得している。	乳幼児の保育について課題を見いだす努力ができる。	授業を受けるための準備ができている。(教材準備・身のまわりの整理整頓など)
評価方法	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 実習 定期テスト	授業中の行動 年間を通しての出席状況

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	子どもの発達の特徴 子どもの発達のプロセス
2 学期	子どもの生活 子どもの保育
3 学期	子どもの福祉

何で学ぶか(教材)

家庭305 子どもの発達と保育 (実教出版) 子どもの発達と保育学習ノート (実教出版) プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 実習 講演 グループ学習 作品制作
----------------------------------

科目名	国語演習	授業時数	週 2 単位
目 標	語彙や知識を増やし、問題演習により思考力、判断力を向上させることで入試レベルの読解力を身につける。		
		コース・学年	研志(看護) コース 3 学年

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価			
S 使える	入試レベルの問題演習において、漢字や語彙が正しく解答できる。	入試レベルの問題の演習において、正しく解答することができる。	入試レベルの問題演習を積極的に解き、復習し、読解力を向上させるよう努めている。
A わかる	演習問題において、漢字や語彙の問題が正しく解答できる。	問題演習において、根拠をもって正しく解答できる。	問題演習において、時間配分を考えながら自分なりに根拠をもって解答を出している。
基 B できる	漢字や語彙の力が向上している。	問題演習において、自分なりに根拠をもって解答を出すことができる。	問題演習において、自分なりに根拠をもって解答を出している。
準 C する	問題演習に取り組んでいる。	問題演習に取り組んでいる。	問題演習に取り組んでいる。
評価方法	定期テスト 小テスト 提出物	定期テスト 小テスト 提出物	定期テスト 小テスト 提出物

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	現代文読解演習 漢字・語彙の問題
2 学期	現代文読解演習 漢字・語彙の問題
3 学期	現代文読解演習 漢字・語彙の問題

何で学ぶか(教材)

『新成 現代文』 (尚文出版) 『新版 高校漢字必携』 (第一学習社)
--

どのように学ぶか(授業方法など)

問題演習 講義による解説
-----------------

科目名	自己表現	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志 コース	看護医療福祉
目 自己を表現する手段（書く・話す・傾聴していると示す）について幅広く学び、医療・福祉職 標 で働く上での資質向上を図りつつ、受験に必要な表現する力を身につける。				

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基 準	S 使える	相手や目的、意図に応じた適切で論理的で時事をふまえた自己表現ができ、協働して課題について意見交換できる。	目的や場に応じ、課題の意図に添って効果的に「話す・書く・傾聴」しつつ、意見交換から考えを深め、自説をまとめることができる。	論理的に自己の主張を発言・記述しようとし、協働して医療・福祉の諸問題について考察しようとする。
	A わかる	意図に応じた適切で論理的な自己表現ができ、協働して課題について意見交換できる。	目的や場に応じ、課題の意図に添って効果的に「話す・書く」ことに努め、意見交換しながら自説をまとめることができる。	自分の考えを分かりやすく他者に伝えようとし、協働して医療・福祉の諸問題について考察しようとする。
	B できる	自分の知識や体験に基づいて、要求される制限を満たしつつ、自己表現ができる。	目的や場、課題の意図を理解して読み書きや意見交換ができる。	提出物の準備ができていいる。自分の考えを持ち、課題について他者と一緒に考えようとする。
	C する	目の前の課題に向き合い、自分なりの自己表現ができる。	目的や場、課題の意図を理解してある程度、読み書きや意見交換ができる。	授業を受けるための準備ができていいる。（教材の準備・服装）
評価方法	授業、定期考査、発表	授業、定期考査、発表、提出物	授業、提出物、発表	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	スピーチ（「分かりやすく伝える・相手を理解する」態度、時間は1分、2分）、新聞記事を使った小論文、テーマ型・課題文型小論文、課題文要約、自己PR、志望理由書の準備、面接準備
2 学期	川柳（夏休みを短く切り取る）、課題文要約、テーマ型・課題文型小論文、医療福祉時事や業界のプロについての新聞記事・出前授業について気付きや感想をまとめる、短歌（2種類）、スピーチ、上級学校の過去問題、面接準備、研志コース発表の準備（協働作業）
3 学期	

何で学ぶか(教材)

オリジナル教材、日本経済新聞をはじめとした記事、医療と安全管理総集版（ニホンミック）、専門学校・大学の過去問題、専門学校の出前授業、職業体験、講演・講座
--

どのように学ぶか(授業方法など)

一斉講義、グループワーク、ペアワーク、課題、講演、各種医療体験
---------------------------------

科目名	公民	授業時数	週 2 単位
目標	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		
	コース・学年	研志 コース	3 学年

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価			
S 使える	基本的な概念や理論及び現代の諸課題を十分に理解するとともに、諸資料からの情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	図表やグラフをもとに現代の諸課題について多面的・多角的に考察でき、公正な判断のもと、自らの意見をまとめることができる。	現代の諸課題についての理解を深めるための討議・調査等を行うことができる。
A わかる	基本的な概念や理論及び現代の諸課題を概ね理解するとともに、諸資料からの情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	図表やグラフをもとに、現代の諸課題について多面的・多角的に考察でき、自らの意見をまとめることができる。	現代の諸課題について、その問題点や克服のための課題等に気づくことができる。
B できる	基本的な概念や理論及び現代社会の諸課題を概ね理解するとともに、諸資料からの情報を関連付けて考えることができる。	図表やグラフをもとに、現代の諸課題について多面的・多角的に考察できる	現代の諸課題について、教員に対して、またはグループ内で質問することができる。
C する	基本的な概念や理論及び現代社会の諸課題をある程度理解するとともに、諸資料からの情報を関連付けて考えることができる。	図表やグラフをある程度読み取ることができる。	授業に意欲的に参加し、グループ内等で発言することができる。
評価方法	定期考査 確認テスト等	定期考査 確認テスト等	授業態度 提出物 グループ討議等

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	国際政治の仕組みと動向 国際経済の仕組みと動向
2 学期	国際社会の現状と課題 演習
3 学期	演習

何で学ぶか(教材)

新版最新現代社会資料集 2021 (第一学習社) 現代社会要点サブノート (東京書籍)
--

どのように学ぶか(授業方法など)

講義、演習、グループ討議
--------------

科目名	生物基礎	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース 探究・看護
目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基準	S 使える	基本的な概念・原理・法則を十分に理解し、数値の取り扱いも確実にできる。実験、実習の技能が確実に身につけている。	図表やグラフ、実験・観察データをもとに科学的に正しく考察できる。実験・観察の結果を適切に表現できる。	グループ活動および実験や実習等においてより深く探究する姿勢を持ち、調べたり考察したりする。
	A わかる	基本的な概念・原理・法則を概ね理解し、数値の取り扱いもできる。実験、実習の技能が概ね身につけている。	図表やグラフ、実験・観察データから分かることとともに、考察することができる。	グループ活動および実験や実習等において自らの役割を見出し主体的に活動する。
	B できる	基本的な概念・知識が概ね身につけている。実験・実習の基本的な操作ができる。	図表やグラフ、実験・観察データから分かることを指摘できる。	授業中に分からないことを積極的に質問したり、教え合ったりできる。
	C する	基本的な概念・知識がある程度身につけている。	図表やグラフをある程度読み取ることができる。	授業に意欲的に参加し、積極的に発言やグループ活動を行う。
評価方法	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	授業態度 各種提出物 グループワーク	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき 第3章 体内環境と恒常性
2 学期	総合問題演習
3 学期	総合問題演習

何で学ぶか(教材)

教科書 (第一学習社 改訂版 新生物基礎(319))
ワーク (第一学習社 ネオパルノート生物基礎)

どのように学ぶか(授業方法など)

講義, 問題演習
----------

科目名	現代文B	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志	コース 大学進学
目標	文学作品を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解により、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。また、現代社会で求められる言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価 S A B C	使える	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけて活用することができる。	相手や場に応じて効果的に話し的確に聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを発展させている。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる。客観的に主体的に思考、判断することができる。	
	わかる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	相手や場に応じて話し聞き取り、自分の考えを表現できる。目的や意図に応じた適切な表現による文章が書ける。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現できる力を磨く。客観的に主体的に思考、判断する力を磨く。	
	できる	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけようと努力する。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解することができる。自分の考えを文章にまとめられる。	言葉や文章で伝え合う力を進んで高め、表現しようと努力する。客観的に主体的に思考、判断できる力をつけようと努力する。	
	する	言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて学習意欲を持つ。	相手や場に応じて聞き取り話し合い、その内容を理解しようとする姿勢を持つ。自分での考えを深めようとする学習意欲を持つ。	主体的に学習活動に参加し、学習意欲を持つ。	
評価方法	授業態度の観察 定期考査 提出 スト	定期課題 漢字テ	授業態度の観察 定期考査 提出	定期課題 作文	授業態度・姿勢・準備 グループ活動への取組

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	『はじめての失敗』(随想) 『言葉を理解する』(評論) 『マスク』(小説) 小テスト、作文コンクール、漢字テスト
2 学期	『博士の愛した数式』(小説) 『おまえはどこに立っている』(随想) 『小説とは何か』(評論) 小テスト、作文、漢字テスト
3 学期	

何で学ぶか(教材)

教科書「新高等学校現代文B」明治書院 教科書「新高等学校現代文B学習課題ノート」明治書院 「常用国語便覧」浜島書店 「新版高校漢字必携」第一学習社編集部 各種プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習(発表) グループ学習(発表)
------------------------------

科目名	生物基礎	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース 文芸大学
目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 標準	S 使える	基本的な概念・原理・法則を十分に理解し、数値の取り扱いも確実にできる。実験、実習の技能が確実に身につけている。	図表やグラフ、実験・観察データをもとに科学的に正しく考察できる。実験・観察の結果を適切に表現できる。	グループ活動および実験や実習等においてより深く探究する姿勢を持ち、調べたり考察したりする。
	A わかる	基本的な概念・原理・法則を概ね理解し、数値の取り扱いもできる。実験、実習の技能が概ね身につけている。	図表やグラフ、実験・観察データから分かることとともに、考察することができる。	グループ活動および実験や実習等において自らの役割を見出し主体的に活動する。
	B できる	基本的な概念・知識が概ね身につけている。実験・実習の基本的な操作ができる。	図表やグラフ、実験・観察データから分かることを指摘できる。	授業中に分からないことを積極的に質問したり、教え合ったりできる。
	C する	基本的な概念・知識がある程度身につけている。	図表やグラフをある程度読み取ることができる。	授業に意欲的に参加し、積極的に発言やグループ活動を行う。
評価方法	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	授業態度 各種提出物 グループワーク	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とのはたらき
2 学期	第3章 生物の体内環境
3 学期	第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系とその保全

何で学ぶか(教材)

教科書(数研出版 生物基礎(104))
---------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

講義, 問題演習
----------

教科名	美術演習	授業時数	週 2 単位
		コース・学年	研志 コース 3 学年
目標	美術大学の受験に特化し, 美術理論と美術の専門科目に対応できる能力を身につける。美術の学習内容に関心を持ち, 制作や鑑賞へのあこがれや期待をもつ・最終学年になり, 志望大学, 学部, 学科の決定, それに伴う受験対策の強化をする。		

どのような力を, どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 使える 活用Ⅱ	実践するために必要な知識を身につける	制作活動や技法を適切に判断できる	それぞれの技法の特徴を考える
価値 できる 活用Ⅰ	目的に応じた道具や技術を選択する	様々な技法を用いて基礎的な制作をする	様々な技法について学ぼうとする
準備 わかる 習得	大学の中での芸術活動の意義と役割を理解する	様々な技法を用いて表現できる	様々な技法を用いて制作することができる
研志力(仮)	自己表現力, 計画力	自己表現力, 計画力	自己表現力, 計画力
評価方法	課題の提出	課題の提出	課題の提出

いつ, 何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	4月 オリエンテーション 5, 6月 木炭デッサン制作 石膏, 人物 7, 8月 デザイン構成
2 学期	9月 油絵の基礎 10, 11月 油絵の制作, 受験対策 12月 受験対策
3 学期	

何で学ぶか(教材)

画用紙, 木炭紙, 木炭 デザインセット 油絵セット キャンバス 等
--

どのように学ぶか(授業方法など)

講義, 演習
--------

科目名	芸術演習（音楽）	授業時数	週 2 単位
目標	音楽大学の受験に特化し、音楽理論とソルフェージュ等の専門科目に対応できる、より高度な能力を身につける。		
		コース・学年	研志文・芸大学進学コース 3 学年

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 の 基 準	①#♭二つ以上の単旋律・複旋律・和音聴音と視唱ができる。	伴奏を付けずに、正しい音程とリズムで音楽的な表現で視唱ができる。	学習・練習してきたことを自己評価できる。
S 使 え る	①音楽の仕組みを理解することができる。	伴奏を付けずに、正しい音程とリズムで視唱ができる。	できないところをできるようにするまで繰り返し練習することができる。
A わ か る	②#♭一つまでの単旋律・複旋律・和音聴音と視唱ができる。	伴奏を付け、正しい音程とリズムで視唱ができる。	予習・復習をすることができる。
B で き る	①楽譜の仕組みを理解することができる。	②#♭なしの単旋律・複旋律・和音聴音と視唱ができる。	授業を受けるための準備ができています。(教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など)
C す る	楽典演習とより高度な聴音・視唱等の学習をすることを理解することができる。	専門科目を学習するのに必要な心構えを理解できる。	
評価方法	授業 実技テスト 筆記テスト	授業 実技テスト 筆記テスト	授業 実技テスト 筆記テスト

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学 期	楽典演習（音符・休符・譜表・拍子・音名） 聴音 コールユーブンゲン 新曲視唱
2 学 期	楽典演習（音程・音階・和音・調判定） 聴音 コールユーブンゲン 新曲視唱
3 学 期	聴音 コールユーブンゲン 新曲視唱

何で学ぶか(教材)

教育芸術社 改訂音楽通論 コールユーブンゲン プリント
-----------------------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

個人又は複数人のレッスン形式
----------------

科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	授業時数	週 4 単位	3 学年
		コース	研志 コース	大学進学
目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すると共に、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力をさらに伸ばし、社会生活において活用できるようにする。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基 準	S 使える	自分の意見を適切な英語表現を用いて正しく話したり書いたりできる。	具体的な言語の使用場面に応じて思考・表現し、相手に理解してもらうことができる。	自ら進んでコミュニケーションを取り、積極的に関わろうとする。
	A わかる	相手が表現する内容を正しく捉えることができ、内容を理解することができる。	指定された時間内に正しい発音で、内容を分かりながら読める。	理解したことを他者と確認したり、意見を伝えたりすることができる。
	B できる	内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすることができる。	指定されて時間内に正しい発音で読める。また事実と意見などを区別して、理解できる。	理解できない部分をそのままにせず他者に聞くなどして解決することができる。
	C する	モデル文を真似てゆっくりはっきり読み、丁寧に書くことができる。	平易な単語を置き換えて、パターンプラクティスすることができる。	授業を受ける準備ができる。(用具、服装・整理整頓など) また教師の話を中心して聞くことができる。
評価方法	授業・定期考査・インタビューテスト	授業・定期考査・提出物・パフォーマンステスト	授業・提出物・音読テスト	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	Discourse Marker, L1 Emperor Penguin L2 Caffeine, L3 Blood is Blood L4 Biomimetics
2 学期	L5 Communication without Words L6 Christmas Truce L7 Political Correctness L8 Global Water Crisis
3 学期	L9 Animal Math L10 The Poorest President in the World My Message to You

何で学ぶか(教材)

啓林館『LANDMARK Fit』 数研出版『必携英単語LEAP』 プリント
--

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習・グループ学習 タブレット教材
------------------------------

科目名	英語演習	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志 コース	大学進学
目標	長文や文法, リスニングの問題演習により思考力, 判断力を向上させることで大学入試共通テストや私立大学の入試レベルの学力を身につける。			

どのような力を, どのレベルまで身につけるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 基準	<b>S</b> 使える	入試レベルの問題演習において, 単語や慣用句など適切な語彙で正しく解答できる。	入試レベルの問題演習において, 正しく解答することができる。	入試レベルの問題を積極的に解き, 復習し, 読解力や正答率を向上させるよう努めている。
	<b>A</b> わかる	演習問題において, 語句の問題が正しく解答できる。	演習問題において, 根拠に基づいて適切に解答できる。	演習問題を根拠に基づいて解くだけでなく, 積極的に復習をし, 弱点を補強しようとして努めている。
	<b>B</b> できる	単語や語句の力が向上している。	演習問題において, 自分なりの根拠に基づいて解答を導くことができる。	演習問題において, 自分で考え, 根拠に基づいて解答しようとして努めている。
	<b>C</b> する	問題演習に取り組んでいる。	問題演習に取り組んでいる。	問題演習に取り組んでいる。
評価方法	授業・定期考査・小テスト	授業・定期考査・提出物	授業・提出物	

いつ, 何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	Stage 2: 文型, 時制, 完了形, 助動詞, 受動態, 不定詞, 動名詞, 分詞/分詞構文, 比較, 関係詞, 仮定法
2 学期	Stage 3: 時制, 助動詞, 受動態, 準動詞, 比較, 関係詞, 仮定法, 否定, 注意すべき構文, 名詞・代名詞, 形容詞・副詞, 前置詞・接続詞, 大学入試問題演習
3 学期	大学入試問題演習

何で学ぶか(教材)

英語総合問題集 UNITE STAGE 2 (数研出版)
英語総合問題集 UNITE STAGE 3 (数研出版)

どのように学ぶか(授業方法など)

問題演習 ペア学習・グループ学習 講義による解説
--------------------------------

科目名	古典B	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース	研志	コース 大学進学
目標	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通した先人のものの見方や感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 基 準	S 使える 古典を通して、先人のものの見方や感じ方、考え方を理解することができる。	古典の作品に表れているものの見方や考え方を踏まえ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	古典作品を、自らの考え方や生活に結び付けながら読もうとすることができる。
	A わかる 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりを理解できる。	必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈することができる。	古典作品を読むためのきまりや語彙を身に付けようとすることができる。
	B できる 古典の作品に表れている言葉の響きやリズム、表現の特色などを理解することができる。	文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。	古典作品に進んで慣れ親しもうとする姿勢をもつことができる。
	C する 古典の作品や文章の種類とその特徴を理解することができる。	構成や展開などを的確に捉え、文章の種類を理解することができる。	授業を受けるための準備ができている。(教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など)
評価方法	授業・定期考査	授業・定期考査・提出物	授業・提出物

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	・古文 随筆(枕草子)、物語(源氏物語・大鏡)、日記(蜻蛉日記・和泉式部日記・紫式部日記) ・漢文 史伝(三国志・史記)、小説(人面桃花・杜子春伝)、漢詩
2 学期	・古文 評論(古今和歌集仮名序・無明草子・風姿花伝・去来集) ・漢文 思想と寓話(荀子・孟子・孟子・老子・韓非子) ・私大試験対策
3 学期	・私大試験対策

何で学ぶか(教材)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 『精選古典B改訂版』(三省堂)</li> <li>・副教材 『体系古典文法』(数研出版) 『体系古典文法準拠ノート』(数研出版)</li> <li>・『新明説漢文』(尚文出版)</li> <li>・『重要古文単語315』(桐原書店)</li> </ul>
---

どのように学ぶか(授業方法など)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・ペア学習</li> <li>・グループ学習</li> <li>・問題演習</li> </ul>
--

科目名	数学 I A演習	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース 大学進学
目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを旨とする。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 基 準	S 使える 数学的に解釈したり、数学的に表現したりすることができる。	事象を論理的、かつ統合的・発展的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	粘り強く考え数学を活用し、問題解決の過程を振り返り考察し、評価・改善しようとするすることができる。
	A わかる 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できる。	事象を論理的に考察し、問題を解決できる。	できないことに挑戦し、他と協働しながら問題解決へ向かおうとすることができる。
	B できる 問題に応じて適切な公式を使うことができる。	適切な用語・記号を使い、過程や結果を書くことができる。	できないところを自ら人に聞いたり、他の者が困っているときに一緒に考察することができる。
	C する 基本的な計算や、目的に応じて適切に式変形できる。	問題文の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	授業を受けるための準備ができています。(教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など)
評価方法	・授業 ・定期考査	・授業 ・定期考査 ・提出物	・授業 ・提出物

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	数と式 2次関数 三角比 データの分析
2 学期	場合の数と確率 図形の性質 整数の性質
3 学期	実践演習

何で学ぶか(教材)

大学入学共通テスト対策 リンク数学演習 プリント
--------------------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習・グループ学習 タブレット教材
------------------------------

科目名	数学ⅡB演習	授業時数	週 2 単位	3 学年
		コース	研志	コース 大学進学
目 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを旨とする。				

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 標準	S 使える 数学的に解釈したり、数学的に表現したりすることができる。	事象を論理的、かつ統合的・発展的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	粘り強く考え数学を活用し、問題解決の過程を振り返り考察し、評価・改善しようとするすることができる。
	A わかる 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できる。	事象を論理的に考察し、問題を解決できる。	できないことに挑戦し、他と協働しながら問題解決へ向かおうとすることができる。
	B できる 問題に応じて適切な公式を使うことができる。	適切な用語・記号を使い、過程や結果を書くことができる。	できないところを自ら人に聞いたり、他の者が困っているときに一緒に考察することができる。
	C する 基本的な計算や、目的に応じて適切に式変形できる。	問題文の意味を理解し、用語や記号を適切に用いることができる。	授業を受けるための準備ができています。(教材の準備・服装・身の回りの整理整頓など)
評価方法	・授業 ・定期考査	・授業 ・定期考査 ・提出物	・授業 ・提出物

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	式と証明・複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数と対数関数
2 学期	微分法と積分法 ベクトル 数列
3 学期	実践演習

何で学ぶか(教材)

大学入学共通テスト対策 リンク数学演習ⅠA+ⅡB プリント
-------------------------------------

どのように学ぶか(授業方法など)

講義 ペア学習・グループ学習 タブレット教材
------------------------------

科目名	体育	授業時数	週 3 単位	3 学年
		コース・学年	研志 コース	文系・芸術系大学進学
目標	各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。			

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 標準	S 使える	実践の中で技術や戦術、正しい知識を用いて、楽しく安全に戦うことができる。	瞬時に変わるゲームの中で状況を適切に判断し、プレーをしたり指示を出すことができる。	問題解決の過程を振り返り、考察し、自ら評価・改善しようすることができる。
	A わかる	戦術や技術を適切な場面で生かし、集団・チームの仲間と協力してプレーできる。	自分の役割を理解し、より大きな力を発揮するために、集団で取り組むことができる。	客観的な意見や映像をもとに、自らの改善点を研究できる。他者が困っている時は声を掛け合い、共に考察することができる。
	B できる	基礎練習を正しくおこなひ、競技に応じた技術を身に付けている。	ゲームをする上で必要な技術を理解し、またその競技のルール等を熟知している。	できないことに挑戦し、他と協働しながら問題解決へ向かおうとすることができる。
	C する	基本的な身体機能を理解し、基礎体力を身に付けている。	健康健全な身体を求め、機能解剖やトレーニング方法、また食育、栄養学などを理解している。	授業を受けるための準備ができています。(教材準備・服装・身のまわりの整理整頓など)
評価方法	授業中の行動 実技テスト	授業中の行動 実技テスト	授業中の行動 年間を通しての出席状況	

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	体づくり運動 体力テスト 陸上競技
2 学期	バレーボール ソフトボール サッカー バスケットボール
3 学期	バドミントン ダンス

何で学ぶか(教材)

大修館書店『最新高等保健体育』 大修館書店『最新高等保健体育ノート』 プリント
---

どのように学ぶか(授業方法など)

基礎練習 実戦練習 (ゲーム) チーム練習・戦略会議 iPadによる分析
---

科目名	公民	授業時数	週 2 単位
目標	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		
	コース・学年	研志 コース	3 学年

どのような力を、どのレベルまで身に付けるか

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価			
S 使える	基本的な概念や理論及び現代の諸課題を十分に理解するとともに、諸資料からの情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	図表やグラフをもとに現代の諸課題について多面的・多角的に考察でき、公正な判断のもと、自らの意見をまとめることができる。	現代の諸課題についての理解を深めるための討議・調査等を行うことができる。
A わかる	基本的な概念や理論及び現代の諸課題を概ね理解するとともに、諸資料からの情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	図表やグラフをもとに、現代の諸課題について多面的・多角的に考察でき、自らの意見をまとめることができる。	現代の諸課題について、その問題点や克服のための課題等に気づくことができる。
B できる	基本的な概念や理論及び現代社会の諸課題を概ね理解するとともに、諸資料からの情報を関連付けて考えることができる。	図表やグラフをもとに、現代の諸課題について多面的・多角的に考察できる	現代の諸課題について、教員に対して、またはグループ内で質問することができる。
C する	基本的な概念や理論及び現代社会の諸課題をある程度理解するとともに、諸資料からの情報を関連付けて考えることができる。	図表やグラフをある程度読み取ることができる。	授業に意欲的に参加し、グループ内等で発言することができる。
評価方法	定期考査 確認テスト等	定期考査 確認テスト等	授業態度 提出物 グループ討議等

いつ、何を学ぶか(学習内容)

	学 習 内 容
1 学期	国際政治の仕組みと動向 国際経済の仕組みと動向
2 学期	国際社会の現状と課題 演習
3 学期	演習

何で学ぶか(教材)

新版最新現代社会資料集 2021 (第一学習社) 現代社会要点サブノート (東京書籍)
--

どのように学ぶか(授業方法など)

講義、演習、グループ討議
--------------